

平成 28 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 1 月 28 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 董 彦 文

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学会参加)
事業名	国際学会 OR2016 の参加
事業実施期間	平成 28 年 8 月 30 日～ 平成 28 年 9 月 2 日
成果の概要	<p>International Conference on Operations Research (OR2016) に参加し, 「An Investigation of General Aptitude Test Battery in Relation to Cell Production Efficiency」を題とする論文を発表した。</p> <p>発表論文の主な内容はセル生産における作業適性と生産効率の関連を考究することである。作業適性を測定するために, 厚生労働省編一般職業適性検査 (GATB) を用いる。作業効率を調べるためにセル生産の実験室実験を設計した。回帰分析などの手法を用いて統計解析を行った結果, 7 つの適性項目の中で, 作業者の空間判断力だけが作業効率に有意に相関することがわかった。</p> <p>自分の論文発表の他に, 主催者に依頼されて, Stream: Production and Operations Management というセッションの司会を担当した。</p> <p>OR2016 はドイツ・オペレーションズ・リサーチ学会 (GOR) が主催する国際会議であり, 毎年 1 回開催し, ヨーロッパ諸国では結構知名度の高い学会である。OR2016 には 700 名以上の参加者が来場し, 475 件の発表があった。セッション数が多いのでどのセッションの発表を聞きに行くかは結構迷った。また, コーヒーブレイク時間が非常に長いので, いろいろな分野の研究者と情報交換を行った。</p>